

山の日情報

(第 20 号)

平成30年10月15日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

平成30年度のボランティア事業は、森吉山、乳頭山及び高松岳の3箇所を実施する予定としていましたが、今年度最後のボランティア作業として、太平山において標柱を設置する作業を追加することにしました。

追加した理由は次のとおりです。

- ①県では今年8月に、太平山の縦走路である中岳から剣岳までの間の刈払いを実施しているが、当該区間はヤブ化が進行して廃道に近い状態であった。数年ぶりに復活した登山道をPRして、登山者に利用してもらいたかった。
- ②ボランティア事業は今年度で3年目を迎え、参加していただいた高校は、大館鳳鳴、能代工業、仁賀保高校、角館高校、大曲高校、大曲工業、横手高校、増田高校の8校に上るが、是非とも秋田市内の高校にも参加してもらいたかった。

このような打算とも言える理由は、山の怒りを買って、当初予定した日は雨天となり、10月6日に延期をしてようやく開催することができました。

作業には、秋田北高校登山部4名のほか、日本山岳会秋田支部、河辺山歩会、矢留山岳会などの社会人山岳会の方々、総勢22名が参加してくれました。

標柱は、縦走路の入口となる中岳に設置しましたが、10kgを超える標柱の荷揚げと、設置場所の穴掘りはかなりの重労働であり、参加者の皆様のご協力には大変感謝しております。

設置した標柱には記念として参加していただいた団体名を記したプレートを取り付けてきましたので、参加者の皆様におかれましては、中岳山頂へ来る度に、このボランティア作業を思い出してもらえれば幸いです。

なお、標柱の設置にあたっては、土地の使用について太平山三吉神社様から快く承諾をいただきました。

太平山は「おらほの山」という思いを持たれている方がたくさんいるように感じられます。登山者のために標識を設置してくれたり、登山道の刈払いをしてくれたり、行政主体ではなく、これほど市民が主体となって維持管理が行われている山は、あまりないと思われまます。

このような「おらほの山」が県内全域に広がってもらいたいと考えており、そのきっかけ作りとしてボランティア事業は来年度以降も継続する予定です。



(設置場所の穴掘り)

(プレートの取付)



(‘岳人’ 恒例のハーモニカ演奏)



(記念写真)

(参加者の感想)

○私は、自然に触れることが好きで秋田北高登山部への入部を決意しました。登山大会ではタイムレースにより、植物などを楽しみながら登る余裕があまり多くありませんが、このボランティア作業ではベテランのアルピニスト方と登山をして、今後に生きてくる話や、山の楽しみ方を聞くことができ、とても楽しかったです。

また、秋田北高は小松由佳さんの出身校なので、後輩として太平山の標柱に高校名を刻むことができ、大変に光栄です。

貴重な体験を本当にありがとうございました。

(秋田北高校登山部 齋藤花野子さん)

○私は、このボランティア作業で登山の本来の楽しさが学べました。普段は競技登山をしているので、走って読図をしてと、苦しいことが多いのですが、今回はゆったりと話しながら、景色や植物を見ながら登ることができ、登ることがとても楽しく思えました。

いつもとは異なる観点で山を登ることは、とても良い経験になったので、これからは広い視野で山を登りたいと思います。

(秋田北高校登山部 河辺奈千さん)